

平成15年度 病害虫発生予報 第16号

平成16年3月17日
発表：福島県病害虫防除所

主要病害虫の発生状況と発生予想（ 多 やや多 並 やや少 少 - 対象外）

作物名	病害虫名	発生状況 (平年比)				予想発生量 (平年比)				備考
		県北	県南	会津	浜	県北	県南	会津	浜	
水稲	イネいもち病 イネばか苗病	-	-	-	-					
イチゴ	うどんこ病 アブラムシ類 ハダニ類 コナジラミ類 アザミウマ類	-	-	-	-	-	-	-	-	
キュウリ (冬春)	うどんこ病 ハダニ類	-	-	-	-	-	-	-	-	

予報の根拠の中で(+)は多発要因、(-)は少発要因、(±)は並発生要因であることを示す。

発生予報と防除対策

A 普通作物

イネいもち病(育苗期)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並			

1 予報の根拠

種子の更新率が高く、消毒済の購入種子の利用が定着している(±)。

天候予報(2月25日発表3か月予報)によると、4月と5月の気温は平年並か高いと予想されている(±)。

2 防除上注意すべき事項

未消毒種子を使用する場合は、病害虫防除所ホームページまたは、病害虫防除情報ファクスサービスの「ファピィ」情報番号20番を参照して種子消毒を徹底する。

平成13年より福島県産の吹き付け済み種子の消毒薬剤がベンレートTからヘルシードTフロアブルに変更された。チウラム剤を含むため、テクリードCやモミガードC等の銅剤で処理すると薬効の低下を招く。

被害稻わらやもみ殻などは伝染源となるので、育苗床への使用や、周辺への放置を避ける。

育苗温度管理および水管理はこまめに行い、過湿や過乾燥を避ける。

イネばか苗病	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並			

1 予報の根拠

種子の更新率が高く、消毒済の購入種子の利用が定着している(±)。

天候予報(3か月予報)によると、4月と5月の気温は平年並か高いと予想されている(±)。

2 防除上注意すべき事項

未消毒種子を使用する場合は、「ファピイ」情報番号20番を参照して種子消毒を徹底する。

平成13年より福島県産の吹き付け済み種子の消毒薬剤がベンレートTからヘルシードTフロアブルに変更された。チウラム剤を含むため、テクリードCやモミガードC等の銅剤で処理すると薬効の低下を招く。

消毒済み種子であっても塩水選を必ず実施する。

種子粉衣は浸種時に効果を発揮するので水温は12~15℃（水温10℃以下の場合出芽不良になりやすい）とし、浸種3日間は水を交換しない。

B 野 菜

イチゴうどんこ病	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	並

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去4年と比較して、発生ほ場率、発病果率はともに例年並であった（±）。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.109を参照する。

ア布拉ムシ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	並

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、一部で果梗への寄生が認められたが、過去4年と比較して、発生ほ場率、寄生株率はともに例年並であった（±）。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、抵抗性個体群の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

薬剤の使用にあたっては、ミツバチへの影響について注意する。（県防除基準（訂正版）p.19参照。）

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.110を参照する。

ハダニ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	並

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去4年と比較して、一部で寄生株率の高いほ場が認められたが発生ほ場率、寄生葉率は例年並であった（±）。

2 防除上注意すべき事項

薬剤散布にあたっては、既存薬剤の効果が低下している場合には、最寄りの農林事務所農業普及部、普及所または病害虫防除所までお問い合わせ下さい。

薬剤の使用にあたっては、ミツバチへの影響について注意する。（県防除基準（訂正版）p.19参照。）

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.110を参照する。

コナジラミ類（イチゴ）	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	並

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、発生ほ場率、寄生株率が例年並であったが（±）、一部で寄生株率が高く、すす病の発生したほ場が認められた。

2 防除上注意すべき事項

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.110または、ファピィ情報番号43番を参照する。

アザミウマ類(イチゴ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査では、過去4年と比較して、例年並だった（±）。

2 防除上注意すべき事項

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.110または、ファピィ情報番号43番を参照する。

うどんこ病(冬春キュウリ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査によると、発病葉率は例年並であった（±）。

2 防除上注意すべき事項

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.97または、ファピィ情報番号50番を参照する。

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

ハダニ類(冬春キュウリ)	地 方	県 北	県 南	会 津	浜通り
	発 生 量	並	-	並	

1 予報の根拠

3月上旬の巡回調査によると、発生ほ場率、寄生葉率は例年並であった（±）。

2 防除上注意すべき事項

防除対策は、県防除基準（訂正版）p.100または、ファピィ情報番号50番を参照する。

薬剤散布にあたっては、耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

天候予報

向こう1ヶ月（平成16年3月12日仙台管区気象台発表）の平均気温は高く、日照時間、降水量は平年並の見込みです。

病害虫防除情報ファクスサービス「ファッピイ」

情報分類	情報発表日	情報番号	情報提供機関
総合案内	2004年3月17日	0-0403-03	福島県病害虫防除所
情報タイトル		枚数	作物名
病害虫防除情報ファクスサービス「ファッピイ」の総合案内		1	共通

情報の種類と情報番号

情報の種類	番号	発表日	情報の内容	枚数
総合案内	0	3月17日	情報の種類、内容、発表日を示す	1
発生予察情報			(本県で発表した最新の発生予察情報など)	
定期予報	10	3月17日	平成15年度発生予報第16号	3
特殊報	16	10月15日	平成15年度発生予察特殊報1号	2
防除情報			(病害虫の具体的な発生データや防除対策など)	
水 稲	20	3月 8日	水稻の育苗期病害防除対策について	4
果 樹	30	3月 5日	果樹病害虫総合(3/5発表の情報をまとめてあります)	5
"	33	3月 5日	ナシ黒斑病の越冬状況と防除対策	1
"	35	3月 5日	クサギカメムシの越冬状況	2
"	36	3月 5日	ハダニ類の越冬状況と防除対策	2
野 菜	43	2月24日	イチゴの病害虫の発生状況と防除対策	1
"	48	10月17日	秋冬ネギにおける病害虫の発生状況と防除対策	3
"	50	4月28日	キュウリホモブシス根腐病の発生状況と防除対策	2
"	63	3月17日	冬春キュウリ(施設)の病害虫発生状況と防除対策	1
その他	66	11月28日	イチゴにおける天敵を利用したハダニ類防除 平成1	2
農 薬	71	10月31日	5年7月~9月に登録が失効した農薬	4
"	76	11月25日	農薬の容器又は包装の誤表示について(その2)	4
"	77	11月 6日	住宅地等における農薬使用について	2
"	78	6月 6日	展着剤の使用について	1
"	79	8月27日	農薬の容器又は包装の誤表示について	5
気象情報	90	金曜夕方	金曜発表の1ヶ月予報、金曜発表の週間予報	2

は最新の情報であることを、 はこれまでに発表した情報であることを示しています

FAXの操作方法

お手元のFAXから「024(923)2010」に電話する。

ダイヤル回線の場合のみ「トーン(*)」または「PB」ボタンを1回押す(入力信号をブッシュ信号に切り替える。ただし機種によって切り替えボタンが異なりますので、FAXの取り扱い説明書を参照ください)。

音声案内に従い^{注1)}、取り出したい情報番号^{注2)}に続けて、「シャープ(#)」を押す。

「ピー」の音がしてから、通信ボタン(「受信」や「スタート」ボタンなど)を押す。
受話器を置く。

注1) 音声案内中でも、情報番号の入力はできます。

注2) 情報番号がわからない場合でも、FAXの通信ボタンを押すだけで、総合案内の情報を取り出せます。

情報内容への質問や要望は病害虫防除所までご連絡ください。

TEL : 024-938-4242 FAX : 024-923-2012 e-mail : kfsm0301@sp.jppn.ne.jp

病害虫防除情報は、ファクスサービス(FAX : 024-923-2010)で取り出せます。また病害虫防除所ホームページ(アドレス <http://www.aff.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)でも見ることが出来ます。